

## 令和4年第2回おいらせ町議会定例会

### 一般質問通告書（4人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	8番	平野敏彦議員	一問一答方式
2席	7番	日野口和子議員	一問一答方式
3席	3番	馬場正治議員	一問一答方式
4席	15番	樽山忠議員	一問一答方式

順位	1 席	議員 氏名	8番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	----------	------	--------

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 青森県内で令和4年4月に新型コロナウイルス感染症と確認された方は11,754人で、過去最高とありました。おいらせ町の令和4年5月末までの感染の実態はどのようになっているのかお伺いします。
- (2) 10歳未満や10代の感染者が多く、保育施設や小学校などのクラスターも相次ぎ、高止まりの状況が続いております。これまでの町の対応、及び対策についてお伺いします。
- (3) ワクチン接種のお知らせが4月28日、ホームページに掲載されております。令和3年度中に5歳以上は接種券を発送済みとありますが、小児の接種の状況についてお伺いします。
- (4) ワクチン接種は強制ではないとありますが、5歳から12歳までの接種について、町の対応をお伺いします。
- (5) 4回目の接種時期について、「3回目の接種から5か月以上空ける」となっておりますが、接種時期についてお伺いします。
- (6) 町内の保育施設や高齢者施設などで働く町外在住者職員のワクチン接種を、おいらせ町で接種することが可能か、お伺いします。また、住所地以外で接種できる方法についてお伺いします。

順位	1席	議員 氏名	8番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

## 2. 水産業の振興策について

百石町漁業協同組合の水揚げは、地球温暖化等の影響により平成30年度以降減少し続けております。更に追い打ちをかけ、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、外食産業の需要が急激に落ち込み漁業者は窮地に追い込まれている状態です。

当町の全体の水揚げは、令和元年度対前年比で8,894万7千円の減、令和2年度は7,414万2千円の減、令和3年度は4,533万2千円の減となっております。平成30年度と令和3年度を比較すると2億842万1千円の減額となり、わずか4年で約56.9%も減少しており、漁業経営は深刻な事態となっております。

【百石町漁業協同組合 年度別水揚げ表】

(上段単位:kg)

(下段単位:円)

年度 品名	H30	R元	R2	R3
ほっき貝	297,570	308,080	202,536	220,113
	82,504,906	66,347,593	56,680,167	58,007,429
小型定置	475,371	319,634	227,848	226,655
	268,361,823	199,606,515	134,266,479	86,572,834
その他	20,935	17,372	27,743	30,877
	15,437,327	11,402,522	12,268,240	13,302,653
合計	793,876	645,086	458,127	477,645
	366,304,056	277,356,630	203,214,886	157,882,916

- (1) ほっき貝の水揚げは、平成30年度、8,250万5千円に対し、令和3年度は5,800万7千円となっており、減少額は2,449万7千円、率にして29.7%も減少しております。

そのため、ほっき漁を営む漁業者の中には今後の操業に不安を感じ、日々苦悩が続いている状態であります。このほっき貝漁業者に対し、早急に町の支援が必要です。町の支援策について、お伺いします。

- (2) 平成30年度の小型定置網の水揚げは2億6,836万2千円ありましたが、令和3年度は8,657万3千円となっており、減少額は1億8,178万9千円、率にすると67.7%も減少し、大幅に落ち込んでおります。

定置網漁業は、それぞれの役割を持った「網船」と「運搬船」の船団でこの1船団を「1ヶ統」と呼んでおり、当町の小型定置網は3ヶ統が操業しております。

ほっき貝の漁業者と小型定置網の漁業者では支援の対象者が違うため、この小型定置網の漁業者に対しても早急に町の支援が必要であります。支援策について、町の考えをお伺いします。

順位	1 席	議員 氏名	8番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	----------	------	--------

### 3. 町職員名簿について

- (1) 広報おいらせ5月号に、令和4年度職員名簿の掲載がありました。これまで町長や課長級の方の顔写真がありますが、他の職員の顔写真掲載がありません。なぜ掲載されないのかお伺いします。
- (2) コロナ禍で家にいる時間が非常に多くなり、人を騙し欺く詐欺の電話を取る機会が増え、また、人と接する機会が減り、相談する環境が少なくなったため振り込め詐欺の件数が増加しているとのこと。令和3年の特殊詐欺の被害は約1万4,000件、被害額は278億円と言われております。  
 その中で、自治体職員を語る詐欺事件が多発し、多くの町民から信頼を築く意味でも町職員の顔写真を望む声があります。  
 今後の町の対応についてお伺いします。
- (3) この取扱いについて、見直しする考えがあるのかお伺いします。

順位	2席	議員 氏名	7番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

## 1. 男性の育児休業について

2022年度には男性の育児休業取得の促進に向け制度が大きく変わると報じられています。

この度の法改正で研修や相談窓口の設置といった育休を取得しやすい環境整備のほか、対象者への意向確認と制度周知が義務化されました。

そこで次のことについてお伺いします。

(1) 本人または配偶者の妊娠・出産を申し出た町職員に対して周知した件数、及び休業の取得意向を確認した件数をお伺いします。

また、そのうち男性職員への周知件数と休業の取得意向の件数をお伺いします。

(2) 男性が育児休業を取得しやすい環境整備として、研修の実施や相談体制、取得事例の情報提供などが挙げられておりますが、仕事と育児を両立させるためにおいらせ町役場ではどのような取り組みや対策を講じているのか、お伺いします。

また、近年、仕事と育児の両立が難しいとの理由で退職した職員がいるかお伺いします。退職した職員がいる場合、性別と人数をお伺いします。

(3) 町男性職員の積極的な育児休暇取得情報を周知することにより、町内企業に対しても一定程度の波及効果が望めるものと思います。

また、女性だけではなく男性も育休を取得しやすい環境を整えることによって、育児の大変さも理解でき、協力しながら子育てをすることによって家族の絆も深くなるのではとも思っています。更に職場全体で制度を理解することによって仕事と育児の両立が図られると考えます。

そして、一つ一つの家庭の幸福度が上がることによって町全体の幸福度に表れ、結果としてそれが町民への住みよいまちづくりにもつながっていくものと思いますが、町の考えをお伺いします。

順位	2席	議員 氏名	7番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

## 2. コロナ感染症対策について

- (1) 第6波、7波と懸念されている中、町のコロナ感染に関する放送は注意喚起を促しており、心より有難く感謝申し上げます。  
さて、三戸管内の保健所でも感染者が継続的にでております。万が一、町内でクラスターが発生した場合、おいらせ病院はそれに対応できる病床と、医師や看護師の確保など、私たち町民がいつでも安心して受診できる整備体制なのか、お伺いします。
- (2) おいらせ病院の医療従事者の負担軽減やその他の対策はどのように図られているのか、お伺いします。
- (3) 3回目のワクチン接種をしないという声を聞くことがありますが、未接種者へ対し、どのような勧奨対策を講じているのか、お伺いします。

順位	3席	議員 氏名	3番 馬場 正治	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

## 1. 安全安心なまちづくりについて

### (1) 交通安全対策について

ア. 昨年的一般質問で、教育長は「町内の各学校長に対して、文部科学省の通達に基づいた通学路に指定すべき道路についての調査と報告を指示しており、新年度から公式に通学路を指定する」と答弁したが、今年度指定した通学路について、その詳細と町民への周知の方法について伺います。

イ. 昨年的一般質問で、教育長は「日没後に下校する児童生徒の服装について、自動車の運転者が認識しやすい方法がないかを校長会等で協議している」としていたが、その後の進展について伺います。

## 2. 新型コロナ感染対策について

### (1) わが町の新型コロナ感染症の感染者数について

ア. 町が確認している最新の感染者数について伺います。

イ. これまでPCR検査等で感染が確認された町民について、「死亡（病院または自宅）」「入院」「自宅療養」「その他」に分類した人数を確認しているか伺います。

### (2) コロナワクチンの接種について

ア. ワクチンの接種を受けた町民について、1回から3回まで各回の人数と町の人口に対する割合を伺います。

イ. ワクチン接種後の副反応について、接種を受けた町民からどのような声が上がっているのか伺います。

ウ. 厚生労働省のウェブサイトでは、昨年10月3日までにワクチン接種後1,255人の死者が報告されているものの、大半の人について接種と死亡との因果関係はわからないとのことだが、町として今後も国の方針に沿ってワクチン接種を推奨するのか伺います。

順位	3席	議員 氏名	3番 馬場 正治	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

エ. 新型コロナワクチンの安全性に疑問を唱えている学者や医師が多数おり、今年3月16日のデーリー東北新聞にも一面全面を使った「意見広告」が掲載されたが、今後18歳未満の未成年者や5歳以下の幼児、妊婦等に対しても町としてワクチン接種を推奨するのか伺います。

### 3. 土地利用計画について

#### (1) 農地の地目変更について

ア. 長年耕作されずに放置された状態の「畑」について、「原野」や「山林」または「雑種地」など、土地の所有者が処分しやすい「畑」以外の用途への地目変更の基準を緩和できないか伺います。



順位	4席	議員 氏名	15番 榎山 忠	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

## 1. デマンドバスについて

デマンドバス運行から2か月経ちましたが、その運用状況を問うものです。

- (1) 計画時の1日平均利用人数と、現在の1日平均利用人数をお知らせください。  
また、運行上の課題とその対策についてお伺いします。
- (2) 車いすのまま利用できるリフト付きデマンドバスには、乗客の昇降時の段差解消用の自動ステップが装着されているようですが、通常のデマンドバスにはそれが無く、ドライバーが踏み台を持参して対応しているとのことですが、安全上問題があるように思われることから自動ステップを装着する考えはありませんか。
- (3) 利用時間が午前8時から午後6時とあり、最後の利用者が目的地に到着する時刻が午後6時としているが、仮に間木コミュニティーセンターから分庁舎まで乗車したい場合、最終予約時間は何時頃となりますか。  
また、この議会中に我々議員にデマンドバスを披露する考えはありませんか。

## 2. 新財政調整基金の活用について

財政調整基金が年度末残高見込み額約21億5千万円となることが、令和4年第2回臨時会において報告されたことから、次のことを問うものです。

- (1) 基金を活用して、おいらせ病院の移転計画を具体化する考えは。また、それに伴い、スケジュールを早期に検討する考えはありませんか。
- (2) 基金と合併特例債を活用し、新統合庁舎建設計画を具体化する考えは。また、それに伴い、スケジュールを早期に検討する考えはありませんか。
- (3) 第2回臨時会において、専決処分とした町道瑕疵による自動車破損による損害賠償が2件あり、その原因が道路の穴によるパンクとのことですが、基金を活用し道路整備事業を強化する考えはありませんか。
- (4) 町道豊原・豊栄線の道路幅が見にくい状態にあり、特に日没後や冬期間の降雪時は危険な状態で事故も起きています。基金を活用し、事故防止のため視線誘導標（デリネーター）を増設する考えはありませんか。

順位	4席	議員 氏名	15番 榎山 忠	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

(5) 間木堤護岸周回舗装道路が劣化し、約70か所のジョイント部分に隙間ができ、車椅子や肢体不自由者の通行に支障をきたしていますが、整備補修する考えはありませんか。

(6) 今年度の本庁舎、分庁舎のエアコン設置により全てにエアコンが設置されることとなりますか。

また、議場のエアコン設置はどうなりますか。

### 3. まん延防止期間等の公共施設利用について

(1) まん延防止期間等の公民館等の公共施設利用について、一律に県と同様の取り扱いとせず、今後はウィズコロナとして、町内の感染状況を見て利用制限すべきではないかと考えております。

県の施設は県内外からの利用者があるのに対し、町の施設は町民利用がほとんどであります。

なお、青森県は令和4年4月10日まで公共施設の利用制限をしておりましたが、弘前市では4月1日から利用制限を解除する対応をしております。

公共施設を利用している町民の生きがいの場でもあり、健康に直結すると考えております。町民の心と体の健康を維持するために、今後は町独自で利用制限する考えはありませんか。